

# ご存じですか！文化財

63

## 「龍蔵寺本堂」

市指定有形文化財 昭和52年6月9日指定



問合せ  
生涯学習課  
(0480)62・1223



所在地 大門町18-51

龍蔵寺は浄土宗の寺院で、寺の縁起によると、文和4(1355)年に教蔵上人によつて創建されました。縁起文には、現在の龍蔵寺のあたりは利根川が流れ、寺の周辺は川の流れが三つ又に分れていました。そのため、三俣という地名ができたといわれます。龍蔵寺本堂は天保6(1835)年の建築で、9年の歳月をかけて完成したといわれています。入母屋造りの瓦葺きで、面積は330平方メートルです。市内でも数少ない大規模なもので、江戸時代を代表する木造建築物となつて

います。堂内内陣の天井には、見事な龍と天女の絵が描かれていて、外陣には、高村東雲による天蓋が配されています。設計・建築に携わったのは、羽生市川俣の三村正利です。三村家は羽生で代々宮大工を受け継いできた家柄で、正利は文化元(1804)年に生まれ、明治25(1892)年に88歳で亡くなるまで、当時の北埼玉郡内の神社仏閣を数多く建築しました。主な建築物には、總願寺不動堂(市指定文化財)や群馬県板倉町の雷電神社本社(群馬県指定文化財)が知られています。

